

報かがわ

発行所 香川自治会館
 発行人 香川自治会
 編集者 香川自治会
 印刷所 (有)スエカネ印刷

「自治会活動の報告」 評議員会が開催されました。

10月15日(日)、香川自治会館に於いて平成18年度前期の評議員会が開催されました。当日の評議員(32名)の出席者数は27名(内委
任状提出者10名を含む)の方々が出席されました。

冒頭、黒沼自治会長の挨拶に始まり、総務委員長からは平成18年度前期の香川自治会の活動状況の報告があり、その中で特筆すべき点は、
 ①香川区画整理地区B工区(所謂香川ぶら下がり地区)の住居表示が6月の茅ヶ崎市議会で「みずき4丁目」に決定したこと、
 ②5月23日に神奈川県知事来訪による香川地区の視察と移動知事室が香川自治会館で開催されたこと、
 ③8月27日、鶴が台中学校で行われた茅ヶ崎市総合防災訓練では香川自治会から予定数を超える220名の多くの方々に参加して頂いたこと、
 ④香川自治会会則の見直し(制定は昭和48年)を行うべく「会則検討会」を発足したことなどが報告されました。

その後、各町内会及び各委員会の活動状況の報告がありました。その中で会計委員長からは、
 ①区画整理地区B工区(旧香川)の香川自治会会員59名の方々が、

18・19年度の
自治会館運営委員会委員紹介
(敬称略)

氏名	町内会	組
越本 正之	1	12・2
角田 茂	1	15
松永 昭	2	7・2
猪狩 広道	2	27
川島 殊三	3	19
野島 勝生	3	20
小松田 誠一	4	7・2
長木 威広	4	6・3

「自治会館運営委員会」に期待

- ◎印 運営委員長
- ◎印 運営副委員長

香川自治会館の耐用年数は既に経過し、著しく老朽化が進んでいる中、自治会委員の一人として万一の災害発生時には一抹の不安を抱えています。湘北地区自治会連合会では、公共施設の南部偏重と人口の増加を理由にコミュニティセンターの新設を市民集会上に継続して提出しているところですが、先月、新しい自治会館運営委員が選出(別表参照)されましたが、運営委員会は自治会館運営のための単なる諮問機関であると聞いています。常識的には自治会館の運営、管理及び企画が本来の仕事であると思います。香川自治会は運営委員会の組織としての位置付けを明確にし、何をすべきかの方向付けをきちっと決めるべきではないでしょうか。不透明なままでは運営委員会の存続意義は無く、また、新運営委員のやる気を削ぐものと思います。新運営委員は自治会活動にも精通され、自治会館の現状をも十分に理解された方々と聞いています。ごく当然のことです。

香川自治会館利用のお願い

すが、香川自治会として早急な文化が必要とされます。自治会館に活動の円滑化を図る環境を準備すべきです。

新運営委員には、近い将来老若男女が多目的に利用できる理想の自治会館誕生が叶う活躍を期待します。(S・F)

日頃は自治会活動にご理解頂き大変に有難うございます。この度お願いがあつて投稿致しました。ご承知のとおり、自治会館の運営経費は、部屋使用料と駐車場使

「勘重郎堀跡地の整備事業について」

まちづくり委員会

香川まちづくり計画の一環として位置づけられています。「勘重郎堀跡地散策路」の延長工事が、いよいよ11月より着工されることになりました。行政担当課は、下水道部下水道建設課です。

工事の対象区間は、香川自治会館東側の「理容ホープ」さん前から玄珊寺南側通りまでの約130mの間で、その工事内容は下水道管を埋設して開口部を暗渠化し、上部は土として歩けるようにする計画です。

工事に先立ち、10月上旬に工事請負業者が決定され、同26日には勘重郎堀に隣接する周辺住民の方々に行政からの説明会が香川自治会館で開催されました。その説明の中で、行政の計画としては、11月上旬に工作物事前調査業者による勘重郎堀に隣接する工作物の調査をはじめ、同16日に施工計画に沿った二回目の説明会を開催する。その後工事着工となり、完成

18年度末の予定です。

一方、説明会の中で、傾斜地による高低差はどうなるのか?また、既設マンホールで溜まり水による悪臭や蚊の発生源になっているのが改善されるのかなど、質問があり、前者は、階段を付けずスロープ化を考えているが、勾配は法では5%、止むを得ない場合は8%までとなっている。今回は6.9%で行う。

後者は、要所に設置埋設する柵は水が浸透し易い「浸透柵」とし、溜まり水が発生し難く浸み込んだ雨水も吸収し易い構造にする計画等の説明がありました。

ところで、この地域は香川北部地域の開発が行われる以前は、綺麗な用水が流れ、ザリガニやシジミが取れ、白鷺が舞い降りる長閑な環境でした。しかし、近年の開発によって田畑は埋め立てられ、住宅の密集化と用水の流入停止によって、夏は蚊の発生や悪臭による環境悪化が進み、今ではその見影もなく、早急な改善が望まれています。この区間が完成しますと、これまで整備されてきた閑居山下から前記「理容ホープ」さん前を経て玄珊寺南側までの勘重郎堀跡地が散策路として繋がります。完成後、管理は地域に委ねられますが、近隣住民のコミュニケーションの場として、また、気軽な小路として活用されればと期待しています。

尚、完成後茅ヶ崎市では、勘重郎堀跡地記念碑の建設を予定しています。予算に限りはありますがどんな形、どんな場所がよいか等グッドアイデアがありましたら是非お知らせ下さい。



整備が急がれる勘重郎堀

「勘重郎堀散策路」の清掃作業協力をお願いします

勘重郎堀散策路の清掃作業を次の日程で予定しています。多くの皆様方のご協力をお願いします。

◎日時：(原則毎月第2土曜日) 12月9日(土)

1月13日(土)

◎時間：午前10時から12時。

雨天の場合は、翌週に順延。

◎集合場所：香川3-17-1「理容ホープ」さん西側散策路の入り口。

◎問合せ先：まちづくり委員会 西山佳孝(☎57・6911)

香川・下寺尾特定土地 区画整理事業区域のその後

長年の懸案事項であった香川・下寺尾特定土地区画整理事業区域のうち、香川区域であった(通称「ぶら下がり地区」)の扱いについて、住民説明会が11月初旬に開催され、住居表示は「みずき4丁目」に変更されることになりました。この変更に伴い学区も平成19年4月から、みずき1丁目から4丁目までが香川小学校の通学区となりました。この結果、将来の児童数増加を見据えた対応として、平成19年度からの茅ヶ崎市の「新総合計画後期基本計画」(いわゆる「ちがさき・さわやかプラン」)の中で香川小学校校舎の増築が謳われています。

町内会だより

第一町内会

◎八月二十七日の「茅ヶ崎市総合防災訓練」の後、九月に「防災リダー」及び「自治会自主防災組織」の防災対策課と反省会がありました。市では予想以上の住民参加で大成功であったとの評価でした。訓練内容は、日常気付かない茅ヶ崎市の防災体制を総合的に披露し、住民の参加で初期消火・救助・避難所運営・等々災害が発生した時の心構えについて学び意義ある事と感動されたと思います。しかしながら、実際にこの香川地区に大災害が発生したら、一年一度のあの訓練で全て体得したと思えるのか疑問を感じます。

第二町内会

湘北地区体育大会が10月1日行なわれました。当町内では、小・中・高生から主婦まで、大勢の方にご協力いただき、圧倒的な得点により優勝することができました。皆さんご苦労様でした。

近隣の親御さんへ お願い

第一青少年広場には自治会管理の物置倉庫がありますが、元気で遊ぶ子どもさんの中にその物置倉庫の屋根に上って遊ぶ子どもさんが多く見受けられます。気付いた時は注意していますが、どうもその時だけでまた同じことをしているのが現状の様です。

万一、屋根からの落下等で怪我をしないとも限りません。親御さんをはじめ、近隣の方でも気付かれた方は、注意を促すようお願いいたします。

第三町内会

ひったくりにご注意!

深まる秋と共に、紅葉の美しさを堪能する間もなく、新しい年を迎えようとしています。
◎10月1日行なわれた第38回香川地区体育大会では、昨年の優勝に続いて準優勝の栄に輝きました。出場選手の健闘は勿論ですが、多くの関係者、会員の方々の協力とご声援の賜ものと、改めてお礼申し上げます。
◎11月は、第四町内会との合同芋煮会です。近頃は、御夫婦でのジョギングや散歩・スポーツクラブでのトレーニング等、体力を鍛えている人も多く見受けられます。年に一度、体力測定のもりり率先して応募される事をお願いします。
地域の皆さんが集い、競い合う楽しいイベント、成果に関係なく盛り上げたいと思います。

第四町内会

〜一声かけて〜

第四町内会会長としての看板を背負って早八ヶ月余り過ぎた訳ですが、看板を背負って知った多くの問題は、良くも悪くも、時の流れの中に消えて行った事です。こうした流れを冷静に見詰めた時、このままで良いものかと思案するところでは、それは「無感心」という壁の高さが感じられることで、つまり自治会組織の中と、地域住民との間の温度差と言うことです。自治会役員はそれなりの自覚と努力の元で、活動している訳ですが、それを見守る住民の皆さんにどれ程の魅力として写っているかが「無感心」と言う壁を作っているのではないのでしょうか。私の考え過ぎかも知れませんが、しっかりと活動が見られないと言っ

環境ポスター展を終えて

環境整備委員会

九月九日・十日、環境ポスター展を実施しました。一七八点の作品が集り、約一六〇人の方々に観覧いただきました。今年は少し華やかに飾り方にも工夫してみました。如何でしたでしょうか?

「ポスターの描き方」の講座を開いて見ては?との意見もありました。子ども会、委員会の話し合いで今回は見送りましたが来年は又話し合っていきたいと思えます。ポスター作品の公募をしてみましたが、残念乍ら子ども会関係の二点のみで、後は子ども会の子どもの作品で終わってしまったのが心残りです。



力作はどれかな?

「おはよう」、「こんにちわ」、「こんばんは」と逢った人に声を掛けて見て下さい。些細な活動が地域の繋がりを深めます。すでに実行される方もいますが、先ずはそんな些細な事から魅力ある活動に発展させて行きたいと思えますので、宜敷お願い致します。

子ども会役員の方のご協力・委員会のメンバーの結束の良さで、このポスター展は成功の内に終わりました。又、大勢の役員の方々にも足を運んでいただき、感謝しております。(上総)



香川体育大会を 顧みて

10月1日8時30分、時折思い出したように降ってくる霧雨の中、第38回「香川地区体育大会」がスタートしました。私にとっては、三回目の裏方で参加です。

プログラム前半、小さなお友達も、元氣一杯次々と登場してきます。会場係と言うことで、遊具のあたりを巡回していた私は、お一人で熱心に観戦しておられた男性に話しかけられました。

「この体育祭は、子供達がたくさん参加しているいいですね。私の所は、出て来てくれるのは年寄りばかりですよ。」

茅ヶ崎市体育振興会の関係者と名乗られたその方は、「駅近くは、マンションが多く、自治会加入者も少く催物をやっても若い夫婦や、その子ども達は殆んど来てくれないんですよ。」と、主催者としての悩みを口にされています。

そう言えば、この体育祭は、チビっ子の参加を予選で決めている位です。そのチビっ子の中には、両親、そしておじいちゃん、おばあちゃん、三代揃って参加の御家族もかなりおられます。祖父母、父母が家庭を営んできた土地で、その子ども達が周囲の温かい目に見守られながら成長していく。

豊かな自然と、温かい人の心。38年間続いている「体育祭」の秘密は「住み良い町香川」にあったのです。又、一つ嬉しいことを見つけた一日でした。

(H・K)



力走！対抗戦で！

種目	第一町内会	第二町内会	第三町内会	第四町内会	甘沼	松風台
総合順位	5位	優勝	準優勝	4位	3位	6位
玉入れ	72個	86個	92個	55個	83個	85個
綱引き	○	○	×	○	×	×
血圧測定	6点	15点	12点	10点	8点	6点
百足競争	8点	10点	15点	4点	12点	6点
対抗リレー						
男子	6点	12点	10点	4点	15点	8点
女子	8点	12点	4点	15点	10点	6点

「体育大会結果」
優勝 72点 第二町内会
準優勝 61点 第三町内会
三位 58点 甘沼自治会
四位 47点 第四町内会
五位 44点 第一町内会
六位 41点 松風台自治会



手で持ってはダメダメ！

「楽しみました」 香川文化祭

10月28日(土)、29日(日)の二日間自治会館に於て文化祭が行なわれました。天気にも恵まれ、一日目の陶芸の体験教室、二日目のちぎり絵の体験教室、カッピースタンブ交換など盛大に行なわれ大人や子どもが和気あいあいと楽しんでいました。

自治会館の中に入ると、広里多美先生のちぎり絵の会の方々の沢山の作品が展示されていました。先生は海外でも幾つかの賞を取られている方とのこと。特に先生の作品を見ると若さ溢れる作品と思いきや、感動しました。又北原さんの作品は、体調を崩されながらも廃材を利用して作った素晴らしい作品。温かみのある深草先生と生徒さんの陶芸、その他お花、パッチワーク、写真、絵画、など多くの作品を見ることができ楽しめました。二年続けて参加して見て、今年は、作品人も少し少く感じました。来年はもっと沢山の作品にアピールして、どんな作品でも出品し又作品を見に来て頂きたいとの事でした。

(M・S)

「生活習慣病にならないために」

11月3日、香川公民館で湘北地区社会福祉協議会、湘北地区民生委員・児童委員協議会の主催で健康づくり講座が盛況に開催されました。

当日は市民まつりと重なりましたが、香川、鶴が台、松風台、甘沼、ライトタウンの各方面から80名近い参加者がありました。

今回は「生活習慣病にならないために」～あなたは実年齢より若いといわれますか？というテーマで、湘南東部総合病院の川崎院長先生を始め、8名のスタッフの方たちによる盛り沢山の内容でした。

初めに心理テストとして脳のウォーミングがありました。○×で解答しながら、問題の中の単語をいくつ記憶しているかという方式で2回行なわれ、皆さん1回目より2回目の方が成績良く、脳が活性化されたようでした。

講座のメインはスクリーンに映しながらの講義でした。糖尿病、高血圧、高脂血症など生活習慣病の怖さと、それらを防ぐ方法などユーモアあふれるわかりやすい説明に、会場の皆さんが引き込まれました。「太ったらあかん」、「事故も肥満も油断から」、「沖縄の食事が健康によいわけ」などが印象深い言葉でした。



ユーモア交えての講義

ストレッチ体操は、速いテンポの音楽に合わせてゆっくり行なわれ、椅子に座りつ放しだった体を柔軟にほぐしてくれました。栄養指導では繊維質を毎日20gから25g取ろうと、会場から3名の方に朝、昼、夜の食事メニューをトレイの上に作ってもらい、それぞれの食物に繊維質がどのくらい含まれているかの解説がありました。

特筆すべきことは、動脈硬化テストでした。病院から簡易ベッドと検査機械が持ち込まれ、10名の方の検査が行なわれました。30名近い希望者がありましたので、時間の関係で抽選とさせていただきます。検査を受けられた方たちからは、異口同音によかったとの感想が寄せられました。

質疑応答も活発で、予定を30分ほどオーバーして午後4時近くに閉会しました。次回は来年3月に開催いたします。ご期待下さい。健康づくり講座実行委員会 事務局 山本茂樹

香川高齢者の皆さんの「おたのしみ会」

香川社会福祉協議会では、高齢者の皆さんがお元気で、いつまでも、ふれあいの場を持つていた、だける様に、おたのしみ会を開いておられます。(2、4、6、8、10、12)偶数月の第3月曜日に、自治会館第一会議室に於いて、70才以上ひとりぐらし、ご自分で来場できる方々を対象に、午前中は手芸を作りながら、血圧測定、保健師さんから健康についてのご指導を伺い、お昼は、お弁当をいただきながら、おしゃべり等に、はなを咲かせ、昼食後は余興を行なっております。

毎回の余興を例に少し紹介して見ますと、昔話と童話・日本舞踊・南京玉すだれ・フラダンス・香川小学校6年生紙芝居と合唱・カラオケ・マジックショウ・大正琴演奏・ハーモニカ演奏・人形劇・北陽中学校吹奏楽部演奏・香川小学校生徒の皆さんと合唱等楽しみ、唱歌を歌い、踊りながら輪をつくり参加された方々に喜ばれていました。

香川社会福祉協議会のメンバーも当番を決めて、弁当、おやつ、飲み物等の手配をしながら、高齢者の皆さんに気軽に参加出来る様に回をかさねながら、頑張っております。

(K・O)



北陽中学校 吹奏楽部の皆さん

みんなの声

「スピードの走る道路」

今年三月末日に開通した新道。以前は、田畑木に囲まれて、三軒先のクシヤミが聞こえた程静かで長閑な所が、一変してスピードの出る一直線の道。道路に面した生活が初めての方々は、「ウルサイ」。でも、車社会の中で生活しているのに、自分達も、他の道で「ウルサイ」音をたてている。だから、「お互いさま」。いろいろな方々に意見をききました。①歩道が狭い。車のスピードが出ているので、自転車が歩道を走らざるをえない。②外灯が少ない。しかし畑の作物に外灯の光が当たらない様な工夫が必要と思う。

③横断歩道の設置を申請したのに、



(T・I)

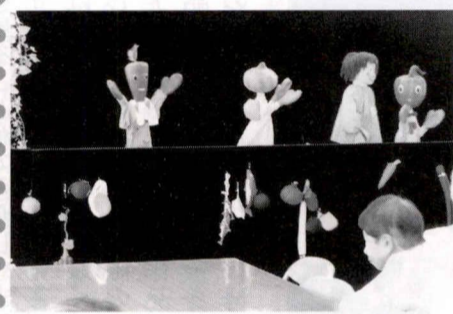
まだ出来ず、何か有ってからは遅いのです。夜スピード違反(ネズミ取り)の取り締まりも、時々やっています。スピードだけでなく、酒を飲んでいられるか等もでしょうが…。

小さい子どもさんの家庭では、子どもさんが外出する時は、横断するのを見届けていますが、年配の方にも注意して下さい。

先日横断歩道があと5m位の所で、70才位の方が手に杖を持ち、車が300m位手前に近づいている所を横断していました。できる限り、横断歩道を利用された方が良いのではと思います。くれぐれも、注意して、この新しい道路を利用して行きたいものです。

「人形劇で楽しく食育」

茅ヶ崎・寒川地域活動栄養士
にんじんの会 斉藤揚子



手作りの人形たち

茅ヶ崎・寒川地区を中心に活動している栄養士のグループ「にんじんの会」。現在15人ほどの会員で、子どもたちに食事の楽しさや食べ物の大切さを伝えるために、人形劇を通して食育を行っています。

昭和57年に結成され、今年で24年目を迎えました。結成当時は高年度成長期。物が豊富になり、子どもたちを取り巻く食環境が変わりつつあり、野菜嫌いなどが問題になり始めた頃でした。何とかしたいという思いから、子どもたちに食事の大切さを伝えていこうと、出張人形劇がスタートしました。

人形劇の脚本や人形、さまざまなた食材などの小物は全て手作りです。脚本も何度か手直しをし、小物も修理をしながら使っています。人形劇を見る子どもたちの反応は正直です。面白くないと興味をもってくれませんが、目を輝かせて見入る子どもたちの様子を肌で

感じたり、人形劇を見てから嫌いなものが少しでも食べられるようになった、などの嬉しい感想が次への励みとなっています。

最近の活動は、地元の保育園や小学校、子育てグループ、健康まつり、歯のフェスティバル等での公演が中心となっています。香川地区では、10月16日の香川自治会館での「おたのしみ会」がデビューとなりました。参加の皆様には童心に戻って人形劇を見ていただきましたが、「わかりやすく楽しくわかったよ」「野菜の大切さが良くわかった」などと言って戴きました。

計報(平成18年11月3日現在)

鈴木千枝子様	80才	9月5日
第一町内会		30組
高橋 猛様	74才	9月9日
第二町内会		3組
栗原 幸子様	72才	9月30日
第四町内会		22・1組
山口 照様	91才	9月30日
第四町内会		34・2組
井本 性朱様	74才	9月30日
第四町内会		38・1組
山地 光男様	75才	10月10日
第一町内会		29組
平野世智恵様	63才	10月12日
第四町内会		3・3組
奥野 友之様	80才	10月23日
第二町内会		31・4組
加藤 貞子様	88才	10月30日
第二町内会		28組
尾島 武常様	75才	11月3日
第二町内会		34・1組

心より御冥福をお祈り申し上げます。

藤村 球子
残る蚊の耳のうしろで鳴きにけり
秋扇閉じて話を切り出しぬ

れ秋の扇だから納得出来るので、
夏の扇では面白味が湧かない。

それ迄暑い夜が続いて寝苦しかったのが、ここに来て大分秋めいて来て朝方もやや涼しく感じられる。ついもう一と眠り、日曜日でもあるし、と。秋めくの季語のよく効いた一句。

香川四丁目の玄菟寺境内に、幹周り2.5mもある栢(カヤ)の樹をご存知でしょうか。樹齢は200年以上で聳え立つ巨木です。銀杏と同様に雌雄異株。四月頃に開花し、九月に丸い緑色の実を付け、熟すと自然に落下。種子は楕円形で核は食べられる。木質は硬く、碁盤や将棋盤などの材料としても珍重されている…とある。

「栢味噌作り」
奮闘記

つてきざみ、白味噌の中にすり混ぜて、砂糖を加えたもの」とあげる。さて、どんな味がするものかちよつと気になった。早速、住職に断って栢の実を拾い集めに行く。果肉は栢独特の香りがして柔らかく、種子はつるりと剥ける。これを殻のまま炒って中身を取りだす

秋暑の候。何やら話し憎い事
があつてやや躊躇していたのだ
が、思い切つてそれまで煽いで
いた扇をぱちんと閉じて、「と
ころで申し上げ憎いのだが」と
切り出したところ。季語により
心理のよく見える一句。

湖風や野佛の膝萩こぼす
紅萩の風が風呼ぶ渡舟場
渡舟は普通「わたし」と言う
が、ここでは「とせん」と読ま

月の出や白萩の波撓みをり
空蟬や忘れられたる子の帽子
待たされてある踏切を銀やんま
銀やんま吾が行く路地へ曲りくる

玄菟寺のご住職の話によると、昔はたくさんの実をつけ、油を絞って食用にしたものだが、何かよい利用方法は無いものかと相談を持ち掛けられた。

つもりである。まずはフライパンでカラカラと狐色になるまで煎ってみる。ところが?である。そろそろ色づいてきたと思う頃、突然パーンと大きな音がしてカヤの実があたり一面に飛び散った。あわてて火を消し、少し冷まして

から二、三粒中身を食べてみる。すると、これが意外と美味で胡桃を食べるような食感が後を引き、結局、全てを食べてしまった。これならいけると再挑戦!今度は種をよく洗って一週間ほど天日で乾し、「白味噌」も買ってきて万端整えての挑戦。種子は、予め金槌でヒビを入れる念の入れようだ。そして、再度炒ってみる。今度は跳ねることも無く無事こんがり炒りあがった。ところが?である。食べてみるとこれが渋くて食られないのだ。原因は定かではないが、どうやら収穫後乾燥したのがよくなかったのかもしれない。に遅く収穫の時期は終わってしまった。残された白味噌を舐めながら、「あゝ!味噌を付けてしまった」と言う次第。真にお粗末

田辺美津枝
迷ひ来て出口探せし大やんま
劇場の座席に残る秋扇

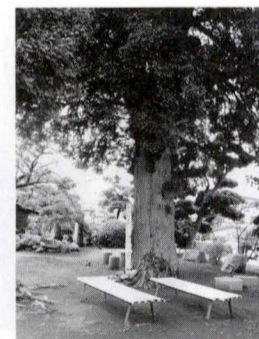
ねばならない。そこがやや苦し
いが、上の風が風呼ぶは見事。
撓んだ萩の花叢に川風が渡つて
いる様が目に見えるようです。

海山にこころ傾く秋はじめ

玄菟寺のご住職の話によると、昔はたくさんの実をつけ、油を絞って食用にしたものだが、何かよい利用方法は無いものかと相談を持ち掛けられた。

つもりである。まずはフライパンでカラカラと狐色になるまで煎ってみる。ところが?である。そろそろ色づいてきたと思う頃、突然パーンと大きな音がしてカヤの実があたり一面に飛び散った。あわてて火を消し、少し冷まして

から二、三粒中身を食べてみる。すると、これが意外と美味で胡桃を食べるような食感が後を引き、結局、全てを食べてしまった。これならいけると再挑戦!今度は種をよく洗って一週間ほど天日で乾し、「白味噌」も買ってきて万端整えての挑戦。種子は、予め金槌でヒビを入れる念の入れようだ。そして、再度炒ってみる。今度は跳ねることも無く無事こんがり炒りあがった。ところが?である。食べてみるとこれが渋くて食られないのだ。原因は定かではないが、どうやら収穫後乾燥したのがよくなかったのかもしれない。に遅く収穫の時期は終わってしまった。残された白味噌を舐めながら、「あゝ!味噌を付けてしまった」と言う次第。真にお粗末



玄菟寺の
カヤの大木

出し物が果てて、一刻、観客の
帰った座席に忘れられた扇、正
に秋扇である。どうも女物のや
や高貴な代物のようである。こ

撫子や保育園児の散歩道
秋めくや二度寝きめ込む日曜日

連絡先 長島久江 ☎(57)6525

玄菟寺のご住職の話によると、昔はたくさんの実をつけ、油を絞って食用にしたものだが、何かよい利用方法は無いものかと相談を持ち掛けられた。

つもりである。まずはフライパンでカラカラと狐色になるまで煎ってみる。ところが?である。そろそろ色づいてきたと思う頃、突然パーンと大きな音がしてカヤの実があたり一面に飛び散った。あわてて火を消し、少し冷まして

から二、三粒中身を食べてみる。すると、これが意外と美味で胡桃を食べるような食感が後を引き、結局、全てを食べてしまった。これならいけると再挑戦!今度は種をよく洗って一週間ほど天日で乾し、「白味噌」も買ってきて万端整えての挑戦。種子は、予め金槌でヒビを入れる念の入れようだ。そして、再度炒ってみる。今度は跳ねることも無く無事こんがり炒りあがった。ところが?である。食べてみるとこれが渋くて食られないのだ。原因は定かではないが、どうやら収穫後乾燥したのがよくなかったのかもしれない。に遅く収穫の時期は終わってしまった。残された白味噌を舐めながら、「あゝ!味噌を付けてしまった」と言う次第。真にお粗末